## 【From Kobe 2021 11月から師走へ 深まりゆく秋 神戸便り 】

深まり行く秋から冬へ 神戸の便り

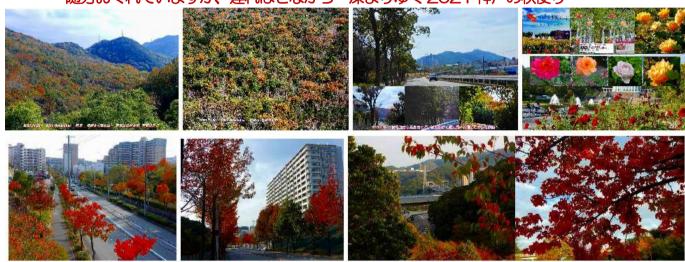
2021.11.20.

収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています

我々一人一人 今何をすべきなのか・・・・・



コロナ禍も収束の兆しの中 神戸秋の便りをと思いながら、もう師走の足音がすぐそこに。 随分おくれていますが、遅ればせながら、深まりゆく 2021 神戸の秋便り



紅葉した神戸わが町須磨 若草の丘・横尾道・名谷・妙法寺周辺で 2021.11.20.

神戸の街・山も真っ赤に色づき一機に秋色に。丘を真っ白にして野路菊の花が咲いて秋送り コロナ禍も何とか収束の兆しが見えてきました コロナ収束はみんなの願い はやく日常の生活を取り戻したいと気分も新た 前向いて!! と自らを奮い立たせています。

新型コロナウイルスワクチンの接種を2回終えた人の割合が人口の5割を超えコロナ禍も収束の兆し 緊急事態宣言も解かれ、街には少し活気が戻ってきた11月街路樹が色付き、街角にはほのかに金木犀の香りが 漂い、気持ちも新た。

緊急事態宣言解除と共に With コロナ・ポストコロナの時代への動きも急加速

遅れに遅れたホームページ更新を神戸秋の便りを早くと思いながらも、もう師走の足音がすぐそこに。

特にトピックスありませんが、衆議院選挙・政権も交代。

毎日聞くコロナ感染者数も急減し、医療崩壊も何とか着実に緩和の方向。

まだまだ油断はできませんが、コロナ収束への道がチラチラと。

ホッと一息ですが、日本も世界も そして 巷の空気も一変して、「with コロナ・ポストコロナ」の言葉とともに、抜き差しならなくなっている地球温暖化の歯止め 低炭素社会実現への舵を切る。

このコロナによる命の危険とともに日常生活・経済・雇用が混乱している中で、すべて同時進行で勧めねばならぬ激動の時代の到来。まさに転換点。

なにか時代の転換点にいるとの予感。常に頭に重苦しくのしかかっている閉塞感・不安感がこれだ。

もう自分の時代ではないと感じることも多いのですが、とにかく 生き延びてゆかねばならぬ。他人任せに出来な田舎で、ひとりでは何も出来ない焦り。

仲間みんなでスクラムくんで この激動の時代 前向いて、元気に生き延びねばと。 遅れに遅れたこの秋の神戸の秋便り。

皆さんにどう写っているかわかりませんが、思いつくまま、勝手な秋だよりです。







西六甲山上の縦走路から眺めた神戸の街・大阪湾の景観

平成30年間の時代を振り返って 平成30年の春 小林喜光氏の指摘

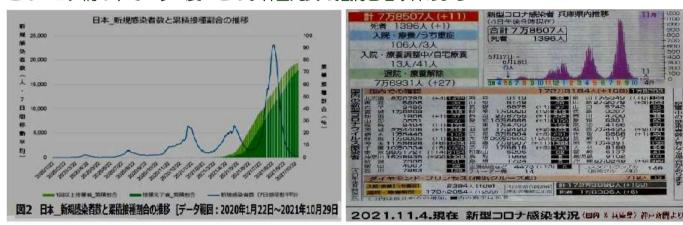
「国家の未来図が描かれないままの政治

日本は心地よいゆでガエル状態 カエルはいずれ煮え上がる」

コロナ禍の中で見えてきた日本の状況はなにも変わっていない

今もそんな言葉が日本にも当てはまる

このコロナ禍の中で 今一度 この小林喜光氏の指摘を噛み締めよう





コロナ禍も収束の兆しの中 コロナ収束はみんなの願い はやく日常の生活を取り戻したいと この間衆議院選挙もあり、菅内閣から岸田内閣へ政権も交代。

でも なんともいえぬこの一票の軽さ。どんどん取り残されていると感じるやり場のない無力感

緊急事態宣言解除後も状況は大幅に改善落ち着いた推移に新感染者数そして重症患者数も激減へ

医療崩壊が叫ばれた医療現場もほっと一息 でも欧米や韓国では第6波流行の兆しも・・

落油断大敵 一機に緩めるわけに行かないが、落ち着いている今だからこそ、第6波への備えも含め、やるべき ことを具体的にみんなが取り組まねばならぬ時代に。

また地球規模でみんなが取り組まねばならぬ低炭素社会実現のアブローチも待ったなし。

同時並行で、手を緩めるわけにゆかぬこの激動の荒波。

やること・思いはひとそれぞれ でもあなた任せではどうにもならぬ。 我が身に必ず降りかかる。

さあ どうすれば よいのか・・・・・

with コロナとともに 保健所・医療現場の改善・日常生活・経済の再構築

言葉は判るのですか またぞろ 中身が全く見えぬ状況が腹立たしい。

理由は明確ではないが、急激に新規患者数・重症患者数も激減。

医療崩壊と言われた病床逼迫の事態も大きく解消され、11月にはいっても全国的に第6波の兆しもなく、穏やか な感染推移が続いている。この急激なコロナ患者数激減の理由は色々言われるが、明確な理由はわかっていない。 一方世界を眺めるとヨーロッパ・韓国など第六波が始まっており、日本でも気を許せぬ状況が垣間見えるが、厳 しい自己行動規制や度重なる緊急事態宣言規制で、ずたずたになった日々の生活・経済・雇用の再建も急務。

with コロナ コロナ対策と経済の再建が声高に叫ばれているが、 その実 全く中身が見えない政治。

なんでもかんでも ほうかむりの仲間政治から脱却しないと

それこそ日本は国際社会から見放され、最貧国へ成り下がる。

実例で言えば、いまや 日本は韓国だけでなく東南アジアの各国にも負ける所得水準に。

先進国が軒並み所得水準を25倍にのばしている中 日本のみが所得水準が伸びていない。

韓国や東南アジア諸国もまた軒並み所得準をのばしているのに・・・・・・

日本人だげか未だにそれを認識していない。

ぐるりと回りを見渡し、何も変わらぬホッとするが、

最近はなにか、おかしいぞと感じることも多々垣間見える。

### 2019年3月掲載の小林喜光氏の指摘した「心地よい、ゆでガエル状態」の言葉が頭をよぎる

◎ 2019年3月に掲載紹介した小林喜光氏の指摘状態が今も続いている現状 経済同友会代表幹事 小林喜光氏 〈インタビュ〉記事 転記ご紹介 「平成の30年間、日本は敗北の時代だった 敗北日本、生き残れるか

https://www.infokkkna.com/ironroad/2019htm/2019mutsu/fkobe1903kobayashi.pdf

### 小林氏はこう指摘する

心地よい、ゆでガエル状態なんでしょう。

日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感じない。 この辺でいいやと思っているうちに 世界は激変して 米中などの後塵を拝しているのに、自覚もできない。 カエルはいずれ煮え上がるでしょう

■国家の未来図が描かれないままの政治が与野党含めて続いてしまったためです。
 今さえよければ、自分さえよければ、という本音の中で、国民も政治家も生きてきた。
 周りが敵ばかりのイスラエルや、覇権を維持するためには科学を前に進めなくてはならない
 米国などと違い、皆で楽しく生きていきましょうという空気が取り巻いて敗北を自覚しない。
 運動会で「みんな一緒にテープを切りましょう」と競争自体を忌み嫌った時期もあった国だから無理もない

### 安倍政権が残した功罪は極めて大きい。

仲間・お友達政権 国際競争・働き方改革と称した大企業偏重の非正規労働の推進が中間層をなくし、 格差助長をまねき、今の社会全体をおおう閉塞・不安社会を作り出した。

まさに「心地よいゆでガエル」状況を演出。それが管政権にひきつがれてきた。、

新しい岸田内閣も with コロナ コロナ対策と経済の再建が声高に叫ぶが、旧態依然 同じ体質か??? 後手後手のコロナ対策が誰の眼にもミエミエだったのに、

れを教訓とした具体的な施策が組み込まれず。、

またぞろ バラマキ実効性のない丸投げ対応が続く。 バラマキは即効でなければ・・・・・・・

脱炭素社会・新しい産業創生と地域産業育成と大企業乗っかりの口先だけではどうにもならぬ。 激動のwith からポストコロナヘ そしてもう抜き差しならぬ脱炭素社会で生き抜かねばならぬ日本 もう老害の政治・経済のリーダーたちや TV ニュースに期待無し。 早くリタイヤ願いたい。

### 若者たちは心地よいゆでガエル状態から目を覚まし、現状打破へ立ち向かえと

想いは人それぞれでも地球時代を生きる激動の今の時代

小林喜光氏の言葉をもう一度噛み締めてみたい

高度成長をもたらした田中列島改造論・池田所得倍増論の時代・安保に立ち向かった学生運動の時代

なにかそんな熱気溢れた時代の空気も懐かしい。

勝手な放言お許しください。 でも、後期高齢者の仲間入りして 見る世間も本当に狭くなりましたが、 確実に激動の時代はやってくる。

孤立せず あなた任せにせす スクラム組んで頑張らねばと

西神戸・東播磨 秋の風物詩 2021

深まりゆく秋の花だより
コスモス・秋のバラ・山腹を真っ白に染める野路菊

あまり良い出来ではありませんが、毎年ずっと掲載してきた西神戸・東播磨の秋の風物詩の花だよりずっと動けずにいましたので元気に動き出せたことに、思いはひとしおコロナ禍の中 ホッと骨休め 街を離れて心地よい秋の風を感じながらの神戸の秋の花巡り



足骨折で歩けなかった夏 そして思い入れいっぱいの今秋 お許しください 深まりゆく秋 10月18日コスモス満開の報に加古川西岸 里山の間に広がる田園地帯へ 久しぶりの原チャリ駆けての加古川市志方のコスモス畑へ

西神戸から東播磨の田園秋の風物詩 心地よい秋風にそよぐコスモスに 今年も出会ってきました。 前回最低点だった免許更新の認知症検査も仲間に教えてもらった虎の巻で無事クリヤー。 バイクにもまだ乗れるぞと。。

忘れかけていた小林旭の歌が聞きたくなって 小林バージョンの、BGM B も作って 愉しんでます。

また、足踵骨折退院して約3ヶ月 近くの横尾道や山麓バイパス沿いの丘の散策路など足慣らしの walk でやっと坂道もok。日常生活には困らぬ状況に。

11.13.には 青な空キラキラ光る須磨の海 約 15000 歩ほどの山歩き walk。

須磨 高倉山-鉄拐山-旗振山 山上の散歩道を歩きました。

まだ長く歩くと少しアキレス腱が痛みますが、やっと山歩きができる状況に。

根っからの風来坊

まだまだ足も動くし、好奇心旺盛の中間にも出会いたい。

また、一つ 嬉しい日常を取り戻せました。

本当に随分長かった・・・・。今後ともよろしくおねがいします。

2021.11.20. From Kobe Mutsu Nakanishi

### 2021 私の秋送り 友を想い浮かべて 横尾山 山腹を真っ白にして咲く野路菊 2021.11.11.

11月の半ば横尾山山腹にノジギクの花が咲きだすと丘に登り、 逝ってしまった仲間 先輩諸氏 知人を思い浮かべつつ、友を悼んでいっときを過ごす



# ■ 脱炭素社会についての新聞やインターネット記事もずいぶん多く掲載されるようになりました。 今回は整理掲載出来ていませんが、お許しください。

ポスト Corona の時代への始動 もうタイムリミットに来ている脱炭素社会構築の激動の時代 其の中で、日本はどうなるのか 掛け声ばかりで、具体的な実践ロードマップやマイルストーントーンがなく 取組現況がブラックボクスの計画など幾つぶち上げても意味がない。

「安全・安心・持続可能」と最後につければ、何でもかんでも具体的な説明責任を果たしたと思ってい人もいる。 一昔前の「IT・AI」と同じで、あまりにも付け焼刃。 胸には「持続可能な開発目標(SDGs」のバッジが躍っている。原料から製品まそして流通販売までトータルとしての脱炭素社会構築はあなた任せの記事も多い。

気になるエネルギー源の根幹を担っている石炭火力発電や鉄鋼生産プロセスにおける脱炭素技術の取組。 脱炭素せねばならぬ量が多いだけに、一期にとは行かず、減炭素量の取組との評価で 目に触れぬことも多い。 また 原子力の安全性も本当にどうにもならぬのか・・・。

これらの分野で今取組んでいる地道な脱炭素・炭素排出低減の技術が成功すれば、

軽減できる炭素量が多いだけに世界の脱炭素社会構築にも大きな役割を演じることができる。

今回も幾つか眼にしましたが、まとめられませんでした。

また、日本やアジアとヨーロッパ・アメリカの取組に大きな相違 温度差を感じています。

最近 それに着目した記事も出回りだした。

地域に存在する事情を直視しないで、何でもかんでも西欧ではうまくゆかぬ現実にも着目せねばと。

そんな鉄鋼・電力・原子力の取り組みにも目を向けて フォローしたいと思っています。

20211120 Mutsu Nakanishi

# 真っ青な空 キラキラ光る須磨の海 須磨 高倉山-鉄拐山-旗振山 山上の散歩道 2021.11.13.









西六甲山上の縦走路から眺めた神戸の街・大阪湾の景観







From Kobe 11月・12月初旬 深まり行く秋から冬へ 神戸の便り

収録 ポストコロナの時代の模索が始まっています 今何をすべきか

我々一人一人は今何を・・・・ 気になった 11 月の新聞・インターネット記事より



緊急事態宣言解除後も状況は大幅に改善落ち着いた推移に新感染者数 そして重症患者数も激減へ

医療崩壊が叫ばれた医療現場もほっと一息 でも欧米や韓国では第6波流行の兆しも・・

落油断大敵 一機に緩めるわけに行かないが、落ち着いている今、やるべきことを具体的に

保健所・医療現場の改善・日常生活・経済の再構築へ

日本の弱点 コロナ禍のに医療崩壊・コロナ施策で見えた刹那的対策の破綻の数々。

本当に日本の指導層・社会組織は我々一人一人に寄り添ってくれせるのだろうか・・・・・・

明日は我が身の不安がついてまわる。裏と表で済まされては困る数々。

かっこいい言葉でその実 非正規の闇を無制限に広げてきた今の日本社会

当事者意識と実践の弱い硬直化した社会・経済指導層の若返り展開の中で、疲弊した日本の社会を立て直す基本は安定した雇用を軸にした社会構築を進めねば、日本は国際社会からも置いてきぼりになるだろう。

あまりにも現実を直視しない日本の社会。コロナ禍で見えた現実に蓋をしてはならないと思います。

◎ 「無症状に4人に1人が肺炎に」 和歌山県の追跡調査で極めてクリアーになった

自宅待機・ホテル隔離の 現実

# "無症状の4人に1人が肺炎に" コロナ感染者を追跡調査 和歌山

2021年10月29日 15時49分

https://www3.nhk.or.ip/news/html/20211029/k10013326721000.html

新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置をとっている和歌山県が第5波までの県内の感染者5000人余りを追跡調査した結果、検査の時点で無症状だった人の4人に1人がその後、肺炎になっていたことがわかりました。

県は無症状でも容体の変化に早期に対応できる態勢づくりが必要だとしています。

和歌山県は新型コロナウイルスの陽性者に対して全国で唯一全員を入院させる措置を続けていて、第5波までに県内の病院に入院した5169人の追跡調査を行いました。

### その結果、

検査の時点で無症状だった人は 1199 人いましたが、このうち 4 人に 1 人に当たる 331 人が その後容体が悪化し、肺炎と診断されていたことが分かりました。

さらに肺炎になった人のうち76人は酸素の投与が必要となるなど中等症以上で、 20人が死亡したということです。

県は変異ウイルスの影響などもあり当初は無症状でも容体が急速に悪化する危険性が示された として、容体の変化を早期に発見し対応できる態勢作りが必要だとしています。

2021年10月29日 NHKニュースより

コロナ対策を統括する和歌山県の野尻孝子技監は

「これから想定される6波に向けて診断時に無症状だからと油断せず、患者の重症化と感染拡大を防ぐため早い 段階から保健所や医療が関わっていくことが重要だ」と 話しています。

### 「症状の変化を把握できる態勢づくりなどが必要」

和歌山県は全国で唯一新型コロナウイルスの陽性者をすべて入院させる措置を続けていて、無症状や軽症者を含めたすべての患者について病状の変化を追跡したデータを感染対策に活用しています。

今回の結果について和歌山県の野尻孝子技監は

「最初に無症状でもそのまま経過するわけでなく5日から1週間で肺炎を合併して急に悪くなる。 そういうことがあるので安心はできないということが網羅的なデータから浮かび上がってきた」と話しています。

そのうえで検査の際に無症状で自宅療養となった場合でも症状が悪化することを想定し、感染者側から の訴えを待つのではなく保健所側からも積極的に感染者に接触して、症状の変化を把握できる態勢づく りやコロナ病床の拡充を進める必要があると指摘しました。

また第6波に向けた注意点として、

野尻技監は「ワクチンを2回接種した人が増えると無症状者や軽症の陽性者が増える可能性がある。 無症状の人から医療機関や高齢者施設に持ち込まれて集団感染が起きるリスクも見据えて対応してい くべきだ」と、注意を呼びかけています

インターネットより採取



ポストコロナの社会の経済の他立て直しに莫大な金をつぎ込み、全米州の基本インフラの整備を main 政策として打ち出した。

新しい産業を起こす基本インフラ整備と全米での雇用巻き起こし政策と見える。すごい規模だ。 バイデン政権は3月に新型コロナウイルスに対応した200兆円規模の経済対策を成立させていて 今回は第2弾の大規模な財政出動。

他国でも・・・・・

一方 日本では 未だに掛け声・丸投げの脱炭素社会とバラマキの財政出動政治の構図が続いている。 あなた任せの構図が頭に浮かぶ。

コロナが落ち着いている今だからこそ、しっかりと検証し、展開せねばならぬ。 ポストコロナで見落としてはならぬ具体的な検討視点とみえるのですが・・・・・

誰もがこそこそ言ってきたことが、オープンにされた。

今しっかりと前向きの展開議論をせねばと思う。

2021.11.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

NHK



の春を思わせる今ごろの穏やかな天気は、 らない◆「小春日和」。時候の言葉が浮か まるかも…そんな期待のはかなさを運転手 へク着用など基本対策のおかげ。<br /> 正平調 つ理由は語られるが、本当のところは分か ながら◆それにしても、なんでこんなに減 い冬からのささやかな贈り物でもあった 感染力が弱まった。謎の周期性。いろい たのか。ワクチン接種が進んだから。 ておられるのだろう。 んだって知らぬわけはない。 現場で働く人たちの手当ても手厚く願 い◆政府はきのう、コロナ 気象解説者、倉嶋厚さんの本によれば 「冬の愛想」といわれたそう。 重症化を抑える飲み薬をできるだけ が激減していることに触れて「これ ◆小春のうちに備えを急ぎ、 ◆ちょっとじんときた。 一滅に目を凝らし、 新型コロナウイルスの感染者 3回目のワクチン接種の 、入院病床も増やすとい 「大丈夫」と祈り 、日々を過 。恐らくは感 このままい 。ウイルス NON-11:13 第6波

2021. 11. 13. 神戸新聞朝刊コラム「正平調」より

0

# 論現

# 被爆国たる日本の覚悟。核兵器廃絶の政策を

科学者の葛藤

総合地球環境学研究所長 った私を訪ねてきた。京都大の 個の無崎博さんが京都大学長が

実は、公前の工程ほど前に艦

學憲、早志職竟包含 職長智。國寶學養 言為難言の野襲選 **美,與李臨地學** 可かの間を 為名職 舊 逐光論 でおいたが、人の全事

静かな鎮魂の日であったように われたこともあって、ひと落わ 際単位がまん延した中で執り行 た。新当日されたにあ 中に広島原爆の日を迎え、閉会 **孟の翌日に長崎原爆の日を迎え** その広島原爆の日に合わせ 今年は東京オリンピックの機 〇〇人に上が生か人様した。 約200人が敷没者として確認 この戦争では京都大から約47 敗である」と構造残している。 中にうずくまる、ある気機の発 ろして捕らえにくい無い一塊の というものはみじんもない、恐 ン系の学生はその8割を組え 郷田はその印象を一幕々し六

京都大の荒勝文策教授がそれぞ 為はて理化学研究所の仁科学 の理学部で、原子核分裂を用い 平洋戦争の末期に京都帝国大学 雄教授が、海軍の契請を受けて た爆弾の製造実験が行われてい だ様子を、ドキュメンタリー風 当時、この研究は陸軍の整調 のたびに歴代の学長は、大学が ていく姿が映っている。 現在の正向から学徒兵が出陣し だから、この映画には京都大の る。私もそれを深く心に刻んだ。 ないことを伝えるのだと答え 間作する。上があるという。そ この絵を見て、京都大はまた戦 兵士を育て名場であってはなら 争を鼓舞しているのか、との質

のドラマに仕立てたものだ。

利切られた。映画の内容は、太

一大幅の子」という映画が

されている。

海外からやってくる防防者が

給のデーマになったのは194 ンドに学生たちが召集されて出 3年の1月20日、大学のグラウ

クロトロンを使った実験室の様

が戦況の<br />
変化とともに<br />
描かれ

れ進めていた。映画は荒勝研究

山極寿 正何から学徒兵が出陣していく 様式を映画に掘りたいというの

陣した時の様子である。 3年の1月20日、大学のグラウ 絵のデーマになったのは194 都大と重なって見えてきた。 私は励った。しかし、彼は京都 で、過去の復元には適きないと 正門の様子も変わっているの 須田国太郎画伯の作品である。 出陣を順材とする京都大出身の ている1枚の抽給だった。学徒 ちに学徒出陣が現代や未来の京 ンドに学生たちが日集されて出 である。当時と今とで時計台も 伯母だし、腰側いているう そのとき私の頭に押かんだの 時計台の迎賓室にかけられ 石者たちの心に、どんな風が吹 で出場しなければならなかった

実験に使われた機材はすべて廃 投下で突然解を下ろすことにな いて帰らぬ人となる主人公の第 った。荒磯研究祭は開卵され を演じた三浦春周は、映画の後 公それを吐き出し、敷物に転 言抜けていたのか。際に飛び込 に自らも命を絶った。 原爆製造筆騒は近馬への原爆

とか未来に残るうとしたに違い 楽処分となった。映画は広島の うとはやる学生を常勝教授が押 教育は前途有望な著者たちを信 しととめる場出がある。当時の 物性込まれて命を失ったのであ 石組が発生し、調査隊の多くが 日月1日に願った何風により土 の影響問表に当たった。しかし 人の一等略するが、現代は 原理で放射線の影響を調べる主 生職成し、被爆者の治療と節機 部の荒勝教授の研究室で調査院 は学郎の村山 新典教授と理学 しれで終わりではない。別都大 映画の中で戦争に参加し上

户

2021年 | 11月11日

同時代を語る

新

鶂

神

る現代でも、科学者が共通に感 利用の境が不解明になりつつあ は摘れる。それは、軍事と目前 みたい科学の心がふつかって心 次第に戦争による犠牲者は増 の際に挟む研究道や学生たちの 四人の別題感と、未知の謎に語 大量の人を約りてする兵間の個 られる心上の慈禧が仰くなる。 数が描かれている。しかし、 と経験ではないだろうか。 映画では、連公職機の譲 敗戦面前に死を運命づけられ 国のために戦争に取り子 上大左直科、物理

朝 チリ 15 EEE 2 2021年(今和3年)11月11日 木曜日

ていく政策を期待している。 **期絶を訴え、国際平和を先導し** な。 男種な、 性部 生した。これは天の海かもしれ

怪と日本文化との関わりを斬新な

う呼び名などを整理すれば3千種 りだすから。また山国なので集後 洗い」と名付け、新種の妖怪を何 カという音が聞こえると、「小古 は、例えば原因不明のシャカシャ 比べて多いと思います。その理由 類くらいになるのでは。諸外国に 句が数方はあり、地方によって連 日本には妖怪や怪異に関する語

でしょう。 生みだされ、多様化した面もある 風土や産業と関わりのある妖怪が ことの独立性が高く、各地の気候 万物に遊が宿ると考えるアニミ

「百鬼夜行絵巻」などに、後に「つ くも神」と呼ばれる、古道具の妖

文化人類学者、民俗学者

小松和彦さん



なり災いを招く」と語る=京都 が、儀礼が欠けていると妖怪と となって人に幸いをもたらす 楽を持つ端で、丁重に揺れば神 ンター(振影・鈴木雅之)

文化」。兵庫與猪名川町在住。

のです。 どが明らかになる、重要な素材な の自然観や世界観、生活の様子な 鏡。それを読み解くことで、人々 ころから関心が深まり、共同体の 大阪大学に着任した1989年 妖怪は人間の喜怒哀楽を映す

り組みました。けれども妖怪は、 外にいる「異人」の研究などに取 小松和彦さん。妖怪は「鷹越蓑 新刊は一級(わざわ)いの大概

センター教授。2012年か 者、20年瑞宝重光章。著作に 7年東京都生まれ、東京都立 13年紫綬褒章、16年文化功劳 ら20年まで同センター所長 子助教授、大阪大学教授を経 人学大学院社会科学研究程度 こまつ・かずひこ 194 いぎる事業の研究」など。最妖怪が新考」、別界と日本人」 一課程单位取得過等。信外上

と第一人者だ。妖器辨は人間 視点で読み解き、学問として確立

研究である。と続く、その心は一。 えた不思議で神秘的な存在、現 妖怪」とは何か。人知を超

怪談を楽しむ会が催され、化け

象一だと小松さんは定義する。 物が登場する小説や絵本、妖怪四 岩 などが国民的に親しまれています 代でも、水木しげるさんの妖怪画 を中心に広く漫画していった。現 鑑も作られ、江戸などの都市住民

排除すべきもの」とされた時代 大 、妖怪が「非科学的で、

「妖怪研究は人間研究だ」と

た。日々、増えていると言えるで JR西日本が、車両とホームの機 妖怪があふれている。少し前にも 100年余りを経て、今は豊近に というキャラクターをPRしてい 聞への転落を訪ぐ「スキマモリ」

む。一方、酒香量子伝説では、鬼怨恨の物語には、人間の性がにじ り、そこから当時の世相が見える。 を退治する側は権力者の源氏であ め、掘り下げていくことなんです。 例えば四谷怪談のような男女の

ある」との特論も掲げる。 妖怪研究は日本文化研究で

して町年、日本文化を国際的、学 ると考えるようになりました。そ を超えて総合的に捉える必要があ る。研究を進めるほど、ジャンル ど、実に多様な分野に存在してい されていた頃です。 に移った。河合軍雄先生が所長を 際的に研究する拠点である日文研 ○次回は18日に掲載します。 「配き手・新開真理

歌舞伎や能、文学や絵画、映画な

妖怪と日本文化

ゲの鬼太郎」や「鬼紋の刃」、

コロナ機で大プームとなった

各地に伝わる民話など、私たちの 国際日本文化研究センター(日文 意近には実に多くの妖怪がいる。

は、幅広い世代が親しみを持つ妖俗学が専門の小松和高さん(24) も増殖していく。こうして妖怪の しい道具が生まれると、つくも神 怪たちが多数描かれています。新 種類が飛躍的に増えたのです。

研の名誉教授で、文化人類学、民

うだけでなく、その物語や絵画 いい を楽しむ流れが生まれてきたと 近世になると、妖怪を恐れ敬

明治・大正期の哲学者、井上田

撲滅すべきと訴えました。しかし と指摘。合理的な思考をするため、 了は、妖怪は人々を感わす迷信が 哀悼など、多様な感情が託された とされてきた。また恨みや執着、 事の、便利な説明装置として必要 生みだした「文化」なんですよ。 警戒心や恐怖心を引き起こす出来 妖怪とは人間の繋がな想像力が

うしたものを生んだ人の心を見つ 存在でもある。妖怪研究とは、そ

- 大大

国際日本文化研究センターのデータベースに収録されて いる妖怪「手長嶋」の画像(いずれも同センター所蔵)

人間の喜怒哀楽、映す鏡 「アシカブリ」